

第1回 明石市資源循環推進部会（議事録）

2021年6月8日(令和3年)5月28日(金) 10:00～

場所：明石市市役所議会棟2階 大会議室

(仁井係長)

定刻となりましたので、只今より、第1回明石市資源循環推進部会を開催させていただきます。

本日の進行役をつとめさせていただきます、資源循環課リサイクル係長の仁井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、部会委員の皆様につきましては、公私とも何かとお忙しい中、明石市資源循環推進部会にご出席を賜りありがとうございます。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、このようなりモート型式での開催となり、不慣れな点もございまして何かとご不便をお掛けしますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。

また、本部会の傍聴について5名を募集しておりましたが、緊急事態宣言延長ならびに新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、傍聴を中止しております。

本部会の内容につきまして、議事録等作成のため録画、録音をさせて頂きたくご了承の程宜しく願います。

資源循環推進部会開催にあたりまして、資源循環課課長の福村よりご挨拶申し上げます。

(福村課長)

皆様おはようございます、資源循環課長の福村です。第1回資源循環推進部会の開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。本日はご多忙のところまた、コロナ禍の厳しい状況の中、本部会に出席賜りましてありがとうございます。また、日頃から環境行政をはじめ市政全般にあたりまして様々な面からご活動やご教授頂いていること、この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、本市は未来に負の遺産を残すことなく誰もが希望を持てる、持続可能な社会の実現に向けまして令和2年3月23日に気候非常事態宣言を表明したところで御座います。更なるごみ減量と持続可能な循環型社会、低炭素社会、地域循環共生圏の創造を目指しまして高齢化社会などの社会的な動向はもとより、食品ロスの削減やプラスチックの排出抑制、SDGs推進の取り組みまた、新たなごみの削減目標を定めて達成できるような新しい政策を検討推進していく必要がございます。

本部会に於いて様々な事をご議論頂きながら、一般廃棄物の処理基本計画の策定に向けて進めて参りたいと思います。委員の皆様には、ご負担お掛けする事になりますがご協力お願いいたします。

本日は限られた時間では御座いますが皆様からのご意見を賜り、部会が有意義なものになりますことを祈念いたしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

(仁井係長)

引き続きまして、第1回目の資源循環推進部会ですので、あらためて自己紹介を頂戴したいと思います。資源循環推進部会名簿の順番でお願いしたいと思いますので、花田部会長より着席のままで、よろしくお願いいたします。

(花田部会長)

大阪産業大学の花田と申します、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

(笹川副部会長)

神戸学院大学の笹川です、宜しくお願い致します。

(三木委員)

コープこうべの三木でございます、どうぞ宜しくお願いします。

(堂本委員)

明石市消費者協会の堂本でございます、宜しくお願い致します。

(森川委員)

明石ごみ研究会の森川です、どうぞよろしく宜しくお願い致します。

(松岡委員)

兵庫県東播磨県民局環境課の松岡と申します、よろしく宜しくお願い致します。

(川下委員)

公募委員の川下で御座います、どうぞ宜しくお願い致します。

(仁井係長)

どうもありがとうございました。なお、小川委員は欠席でございます。

続きまして、事務局の紹介をさせていただきます。

資源循環課 課長の福村でございます。

改めまして資源循環課課長の福村です宜しくお願いします。

資源循環課 主任の桂でございます。

資源循環課の桂と申します、宜しくお願い致します。

私は、資源循環課 係長の仁井でございます、どうぞ宜しくお願い致します。

(仁井係長)

それでは、事前をお願いしておりました、花田部会長ならびに笹川副部会長にご挨拶をいただきたいと思っております。

(花田部会長)

改めまして、花田でございます、皆様おはようございます。

本日、リモートで参加と言う事になりました、事務局をはじめ委員の皆様にご不便をお掛けしておりますことを改めてお詫び申し上げます。お陰様で参加できることが出来ましたのでありがとうございます。今コロナで大変な訳ですが環境問題がコロナによってクローズアップされたという面もあると思っております。資源循環も気候変動ネットゼロと言う事を 2050 年に目指す上で資源循環と言う事も改めてシステムとして考えていかなければならない時かと思っておりますので、皆様の活発なご議論によってこの部会が進みますようにとお願いして、最初の挨拶とさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

(笹川副部会長)

神戸学院大学に勤めております、笹川です。私、専門分野が法律の民法という分野でして資源問題とは直接関りがない分野です。ただ私、明石市に住んでおりまして、明石市の一市民としての立場から参加させて頂きたいので宜しくお願い致します。

(仁井係長)

どうもありがとうございました。これからの部会の進行につきまして、花田部会長にお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

(花田部会長)

はい、宜しくお願ひ致します。今、笹川先生のお話をお伺ひしていて、笹川先生が法律制度と言う事で私が経済と言う事になっております、そして委員の皆様がいわゆるライフスタイルとか、生活という所から色々ご意見を頂ける、それから事業者の方もいらっしゃると言う事で、これは凄いなと思いました。どうぞ宜しくお願ひ致します。明石市民とお聞きして羨ましかったです。

まず初めに限られた時間ですので、予定 11 時 30 分終了という事になっております。

ではよろしくお願ひいたします。

本日の部会が成立しているかどうか、事務局の方からご報告をお願ひできますでしょうか。

(仁井係長)

本日の部会の成立につきまして、ご報告いたします。

本日の部会は、部会委員 8 名のところ、現在 7 名のご出席をいただいておりますので「明石市環境の保全及び創造に関する条例施行規則」第 23 条 2 項の規定に基づき、過半数を満たしており本日の会議は成立しておりますことをご報告申し上げます。

(花田部会長)

ありがとうございます。事務局からご報告ありましたとおり本部会は成立しております。

引き続き、事務局から提案があると聞いています、事務局お願ひできますでしょうか。

(仁井係長)

本部会の公開、非公開についてですが、市民生活に密接な関係がある事項が沢山ありますので、明石市資源循環推進部会を公開とすることを提案いたします。本部会の協議内容などは、環境審議会に報告の義務があります。環境審議会に報告された部会の検討結果については公開となります。議長、審議の程よろしくお願ひいたします。

(花田部会長)

只今ご提案がありました本部会の公開についてと言う事でございますが、親の審議会から付託されておましてこの結果は審議会にて検討しますとこれも公開になります。この 2 点でよろしゅうございますね。如何ですか、本部会にもしご意見がある方はご発言頂けたらと思っておりますが、如何ですかよろしゅうございますか、はい分かりました。ご意見無いようですので本部会を公開といたします。

それでは、議事に入りたいと思っております。本日の報告事項は 5 点と言う事です。

まず、1 番目の今後のスケジュールについて、ご報告お願ひ出来ますでしょうか。

(桂主任) 1 今後のスケジュールについて (資料 1)

事務局の桂でございます。予定の方をご報告させていただきます。

資料 1 をご覧ください。令和 3 年度の環境審議会並びに資源循環推進部会の開催予定表になります。

5 月から 3 月までの予定をしめさせてもらっています。本日 5 月 28 日は第 1 回の部会といたしまして 5 点の報告をさせていただきます。その後 6 月 1 日から 30 日までの間は市民と事業所の方に意識調査と言う事でアンケートを 6 月 1 日に発送させていただきます。その後集計し報告書などを作成させていただきます 8 月の

部会に向けて第2回、予定では4つの項目を検討しております。その次に9月第3回と言う事で推進項目や目標の設定について検討させて頂きたいと思っています。その翌月10月第4回といたしまして、一般廃棄物処理基本計画（素案）についてまとめさせていただき、10月に環境審議会の方にご報告させて頂けたらと思っています。その後、審議会の方で報告の後に11月中旬から12月中旬に向けて、パブリックコメントと言う事で市民の方のご意見を募りたいと思っています。その後1月に市の考え方をホームページに掲載させて頂き1月に第74回の審議会にて答申案として答申させて頂く予定です。

(花田部会長)

はい、有難う御座いました。最後の所ですが、パブリックコメントを受けて市の考え方を市のホームページに掲載と言う事で、こういう意見があって、市の考え方をホームページに掲載すると言う事でよろしいか。

(福村課長)

そのとおりです。

(花田部会長)

これからのスケジュールについて何か、ご意見ご質問ございましたら頂きたいと思います。

(松岡委員)

2月の答申を受けるにあたって、答申案を議論する場はあるのでしょうか。

(桂主任)

1月の第74回審議会にて答申案を諮らせて頂き、会長から市へ答申させて頂く予定です。

(花田部会長)

部会として答申案を議論する会が必要ではと言うご意見だと思いますが、部会としては如何ですか。

(福村課長)

きめ細かい議論があった方が良いのですが、回数については事情により回数が限られております。この4回の中でご議論頂きたいと思います。

(松岡委員)

我々部会の委員は環境審議会の委員でもありますので、答申案について全く議論する場が無いのなら問題ですけど、審議会で諮問出来るのなら、それで結構です。

(花田部会長)

第4回の素案でしっかりと答申しても良いかをまとめる必要がありますね。

このスケジュール間で進んで行くということですので委員の皆様宜しくお願いします。

(桂主任) 2 意識調査について（資料2）

資料2をご覧ください。先ほどご説明致しました意識調査についての資料となります。

計画につきましては、行政、市民、事業所の皆様の協力が不可欠になりますので、この様なアンケート調査を考えておまして6月1日に発送する予定としております。対象者として令和3年の4月1日現在の満16歳以上の世帯主である市民の方、市内事業者につきましては廃止、解散、休業されていない事業所と言う事で、両方とも1000件を対象にアンケート調査をさせて頂きます。

調査票につきましては、前回6年前の計画改定時に調査させて頂きましたアンケート調査を基に、市

で見直しを行い実施させて頂く事とします。今後の予定につきましては6月1日に広報あかしにて告知させて頂きまるとともに調査票を発送させて頂きます。回答期日は6月30日で締め切りさせていただき、7月に報告書と集計をする予定となっており8月の第2回部会にて、こちらの方から報告させて頂けたらと思っております。

(花田部会長)

アンケート調査を6年前にもされたという事で、今回とどこが違うのか事前に説明をお願いしており、見直しについての資料も付いていて、全体的に見てきめ細かい内容になっていると思います。

(松岡委員)

調査の方法で無作為に抽出と言う事ですが、地域で分けることはありますか？地域として偏ってしまわないのか、どのように考えていますか（神戸市では、区があり偏り、バラつきなどあると思われる）

(桂主任)

無作為に抽出はしていますが、一覧表の中で偏りがいないかを確認しています。

(花田部会長)

明石は大きな地域差がある自治体なのですか？

駅周辺でマンションが建っている所と、そうでない所など差がありそうな気もしますが。

(福村課長)

地域差と言うよりワンルームマンションが多い所や一軒家が多い所など住居形態によっては変わってくると思われませんが、大久保と二見でどれ程違うかなど、地域の差はあまり見受けられないし市として面積もそこまで広くないので、地域差は少ないと思われれます。

(川下委員)

無作為の抽出で市民の世帯数というのは想像がつきますが、事業者数の分母はどれぐらいの数字ですか。

(桂主任)

分母の数字は確認出来ておりません。後日、ご報告させて頂きます。

(花田部会長)

今の質問で、分母数によって何か気を付けないといけないとお考えですか？と言いますのは6月1日からアンケートが始まるので今、回答頂かないと間に合わないと思っております

(川下委員)

参考までにお伺いだけです。

(桂主任)

1点追加で、アンケートについてですが、前回は市民向けに1,000件送付し489件(48.9%)の回答を頂き、事業所には480件送付し160件(33.3%)の回答となっており、対策としまして今年度につきましては倍の1,000件を調査させて頂きます。

(桂主任) 3 ごみ排出量・処理量の実績について(資料3)

資料3をご覧ください、ごみ排出量、処理量の実績からご説明させて頂きます。

本市に於ける人口は住民基本台帳によると、概ね29万3千人から30万3千人で推移しておりこの10年間で約1万人増加しています。下の表になりますが環境基本計画とか国の実態調査につきましては

住民基本台帳の人口でさせて頂いており、SDGsの推進計画をたてておりますが、こちらでは実態調査に基づいた推計人口となっておりますので二つの折れ線グラフと言う事で示しております。青色が住民基本台帳でオレンジ色が国勢調査となっております。

ごみ処理の流れですが、令和元年度の実績と言う事で家庭ごみ、事業系ごみあと、一部の産業廃棄物について処理させてもらっている量を、図で現わさせて頂いております。

3つ目ごみ排出量についてでございます。ごみ排出量は総排出量を見ると減少傾向を辿っております。排出別を見ると、家庭ごみは増減を繰り返しており、事業系ごみは増加傾向を示した後に減少傾向に転じております。産業廃棄物については若干増加傾向にあります。令和2年度までの実績を参考までに言わせていただきますと、家庭ごみにつきましては69,476t、事業系ごみにつきましては29,853t、産業廃棄物につきましては1,118tの処理量となっております。次に家庭ごみについての内訳ですが、家庭ごみ全体を見ると増減を繰り返しております。令和元年度では69,984tの処理をしております。一報、分別を見ると紙類、一斉清掃、集団回収など資源化の方は減少傾向。小型電子機器と廃食用油は若干ながら増加傾向を辿っております。その他は増減を繰り返しております。

家庭系の燃やせるごみについてですが、家庭系燃やせるごみ排出量及び1人1日あたりの排出量が減少傾向を示した後に、増加傾向に転じているところです。排出原単位につきましては全体を見ると減少傾向を辿っており、令和元年度では約944gとなっております。排出別に見ますと家庭ごみ、事業系ごみは、減少傾向を辿っており産業廃棄物については、若干ながら増加傾向になっております。

次頁の処理量についてですが、ごみ処理量は増減を繰り返している状況です。

資源化量につきましては、全体を見ると減少傾向を辿っており、令和元年度では11,226tの処理量となっております。一方、処理量別に見ると中間処理量資源化量は増加傾向を辿り、直接資源化量が減少傾向を示しております。資源化量については7割以上を紙類の資源物が占めております。

次にリサイクル率についてですが、リサイクル率は減少傾向を辿っており、令和元年度では平成28年度からマイナス0.74ポイント下がっております。次の最終処分量につきましては全体を見ると、増減を繰り返しており、処理方法につきましては大阪湾広域臨海環境整備センター（フェニックス）で契約に基づいた最終処分とひょうご環境創造協会との契約に基づいた焼却灰のセメント化事業をおこなっております。最終処分場につきましては直接埋立もございますが9割以上を焼却灰が占めております。

(花田部会長)

ごみ排出量で令和2年度はコロナの影響で家庭ごみは減っているのですね？増えると思っていました。

(桂主任)

家庭系ごみは人口増にも拘わらず減少傾向に転じているところで、事業所につきましては急激に落ち込んでいる状況です。

(花田部会長)

人口増と言う事で、明石市は凄い自治体だと思うところです。

(堂本委員)

家庭ごみが減っていることが信じられない、近くのごみステーションが山盛りになり車の出入りが邪魔になるくらいになるので、絶対に増えていると思っていました。最近は大きなごみ（布団）も捨てられており、今は古着を集団回収では回収出来ませんと貼ってあった、なので近くの方が生ごみに混

せて古着を捨てているので月 1 回古着や雑紙の回収があると教えている。しかし最近量は量が極端に減っている、私は衣類とかも出せると教えているが、あまり出てこないのを確認すると生ごみで捨てているとのこと、だから PR 不足ではと思う、行政回収の存在を知らない方もいると思うので何とかして欲しい。

(花田部会長)

衣類を生ごみに入れるというのは罪悪感がありますね、自治体としては如何ですか。

(福村課長)

以前は布類や紙類は地域の集団回収のみでしたが、集団回収が無い地域もありその地域についてカバーする意味で行政回収を開始した経緯があります。したがって、集団回収しか利用していない方もおられるとすれば、ごみカレンダーやハンドブック、ホームページ等で周知は行ってまいります。集団回収がダメなら燃えるごみへというのは間違いの認識ですので、土曜日も行っている事を広報して本来あるべき出し方をして頂けるように周知徹底をしていきたいと思っております。

(花田部会長)

集団回収が熱心な所ほど、集団回収がダメなら行政回収がありますともっと広報すると良いし、衣類に関してはステイホームで整理されたごみが大量に出て回収業者のキャパを超えた為、集団回収が止まっていると思うのですが、行政回収については大丈夫ですか。

(福村課長)

今の所、行政回収についてキャパオーバーはなく、回収を行っています。

(花田部会長)

この辺りも次の一般廃棄物処理基本計画に周知徹底していくかを工夫する必要があるかも知れない。

(三木委員)

リサイクル率が下がっていますがどうお考えになっているのか、日本では衣類の 8 割以上が捨てられておりリサイクルに回っていない。コープこうべでも譲渡会などを実施し、なるべくごみにならないようにと思っているが、再利用してごみにならないような取り組みは如何ですか。

(福村課長)

リサイクル率については上げていかなくてはならないが、例えば紙類について最近では、新聞などを取らない家庭が多く紙媒体がどんどん減少しているのも要因で、市としても取り組んでいます。コープこうべさんとフードドライブの協力もさせて頂き、食品ロス対策も行っており、今後そういった面も更に力を入れて進めていきたいと思っております。市としてはリサイクル率向上の為に努力をしております。

(花田部会長)

衣料は 8 割が捨てられているのですか、半分位とお聞きしていましたが 8 割は酷いですね。譲渡会についてですが、出すときに小さなカードにストーリーを記入し添えて出すと回転率が良くなるという話をお聞きしたことがある。個人的にコープこうべさんには推進力になって頂きたと思います。

(森川委員)

リサイクル率について下がっているのはショックですが、資料の図の示し方で目標数値にスライドさせて現在は目標値からどれ程ズレているかが、わかるような表を作成するのは難しいですか。

リサイクル率の目標値パーセントが高かったと思いますが、特に2030年のSDGsを意識すると今後、重い課題になると思います。みんなが見てわかるような表が欲しいです。各部署がこういった資料を使われていますので、この表が全てになってしまい、決して良い数字じゃないこともPRしていかないと。例えば1日一人あたりの廃棄量について明石市は決して少ない方ではない、近畿全体を考えると奈良県が非常に少なかったと思う、明石市だけ見ていると井の中の蛙になりそうでグローバル的に表の示し方をなされた方が良いでしょう。SDGsの会議に出席していると痛烈に思いました。

(花田部会長)

目標値を示すことについて皆様はいかがでしょう。

(福村課長)

お手元にある、みんなで作る循環型のまち・あかしプラン資料P71にリサイクル率の目標が書かれており、リサイクル率19.2%という事で、現状では達成は難しいのが正直なところでございます。こちらに一人あたりのごみ量も示しておりますので確かに低いです。

(花田部会長)

目標年は何年ですか

(福村課長)

2025年です。

(花田部会長)

2025年ですと1つのグラフに書くのは難しいと思いますが、別の資料にあるからというのではなくてお示し頂く中で共有出来ると良いのかなど、ご指摘をお聞きしながら思いました。他市と比べて関西圏を比べたときに明石市がどのあたりにいるのか、共通認識としてあると良いのかなど思いましたので、次の議論の時までに議論し易い資料としてお示し頂けたらと思います

(松岡委員)

資源化量とリサイクル率が低下していることが関係しているのか教えて頂きたい。

資源化量7割以上紙類が占めていることで空き地とか駐車場にバツカンを置いているシステムが最近見受けられて県内市町でも紙類の回収量が落ち込んでいるが、明石市での状況を教えて頂きたいのと、ごみを減らしてリサイクル率を上げる場合、紙類と容器包装プラがポイントになってくると思いますが、どの様に集められて、処理、リサイクルをされるのか2点を教えて頂きたい。

(福村課長)

空き地にバツカンを置かれているのを見かけられますが、市の主導で行っているのではなく民間の方が置かれている物で、何個設置されているかは把握できていない。家の近くにボックスがあり便利なため、捨てられている方が多い事も認識しております。リサイクルとして集めると言う事で広い意味では有難い話ですが市の回収量として下がっているのも事実でございます。

容器包装リサイクル法については食品トレイ等がそれにあたりますが、明石市として以前モデル地区として行った時代がありましたが、現在は行っておりません。イオンやマックスバリュ、コープさんなど店頭回収を行って頂いており、市民の方はそちらを利用されている事が多いかと思っております。市として、食品トレイの回収は行っておりませんのでスーパー等の店頭回収をお願いしている形になります。

(花田部会長)

容リプラについては、これからどうするかこの機会に考えていかなければいけないと思います。

(桂主任) 4 ごみ組成分析結果について(資料4)

ごみ組成分析結果についてですが、近年過去3年間の実績を表しております。

内容を見て頂くと、資源化可能物、家庭系燃やせるごみに含まれる資源化可能物が12.8%と言う事で、多少なり減少傾向になっております。燃やせるごみにつきましては42.08%と増加傾向になっており、市民の方の分別が徐々に行き届いているのかなと実感しております。

裏面の燃やせないごみにつきましては、資源化可能物のガラス類が減少になっております。

資源可能物の総計ですが5.81%と資源化可能物があまり含まれなくなっているため、分別が行き届いているように思われます。

布類についてですが、燃やせないごみの中に紙類、布類と言う事で15.50%とかなり増えている状況でございます。こちらにつきましては、金具等が付いている衣類などで分別に困られた場合は、一応燃やせないごみに出して下さいとご案内させて頂いておりますので、この関係で多少燃やせないごみの中に入っているのかと推測されます。見易いように円グラフで示しております。

過去3年間の燃やせるごみにつきましては同じような傾向を辿っており、燃やせないごみにつきましては、2020年度に可燃ごみがかなり増えている状況にあります。

(花田部会長)

燃やせるごみのグラフを見て資源化可能物の数値が少し減ってきて好ましい感じですが、燃やせないごみの可燃ごみと言うのが2020年度非常に多くなっていますが、分類の啓発や周知がもう少しあれば減らせることが可能でしょうか？可燃ごみが多くて率直な感想ですが。

(福村課長)

おっしゃる通りで、燃える物、燃えない物の混合物もありまして、ごみの出し方等をホームページや広報紙などで広く周知をしていかなければならないと思いました。

(堂本委員)

古着が19年と20年でほぼ1/3に減っている、燃やせるごみの中の調理くず、食べ残しも凄く増えており何となく分かります。カラスが残飯を漁るぐらい捨てられている。

在宅が増えた為か、生ごみが増えたように思います。

(森川委員)

気候変動の為か、大雨とか台風後の海岸線のごみ量が非常に多く、流木が特に多い。担当部署としては国交省で清掃活動は地域住民で、どの様なシステムになっているか調べると、海岸の横に大きなバケツが設置されておりここに捨てて下さいと書かれています。当然管理者は明石市ではないと思いますが、気候に振り回されて出て来るごみは制限しにくいですが、その数値はどこに出て来ていますか。実際、海岸線に流れてきたペットボトル、流木等の処理の仕方は。(災害ごみの処理の仕方など)

(福村課長)

海岸ごみについては、国・県と市にまたがりその中の災害ごみとしての量は把握できていません。

(花田部会長)

海岸のバケツはどここの所有なのですか

(森川委員)

バッカンが国土交通省や県の管轄だったり、海岸担当の所だったりします。

(花田部会長)

その海岸に設置されているバッカンは自由に置くことが出来るのですか。

(森川委員)

川に近いと川を管理している所が担当で、海側など他の場所は国の管轄にとり複雑です。

(花田部会長)

流木をどうするかとなった時に、元々は木だと農林水産省や林野庁とかで、川になると国土交通省でとてもやりにくい縦割りで、災害ごみなど新たな物が出て来ると縦割りが露呈してくるところですね。

(桂主任) 5 一般廃棄物処理基本計画の達成状況について(資料5)

こちらの表は、明石市の目指す環境像を実現し、持続可能な社会を形成することを目的としたEMS環境マネジメントシステムで管理されているもので、2020年度の評価結果を掲載させて頂いております。基本方針1から家庭系指定袋の導入、家庭系ごみ有料化導入の件と分別の徹底に向けた事業系指定袋の導入、不用品の再使用の推進、資源ごみの名称変更、資源ごみ等持ち去りへの対策、裏面の焼却灰の資源化や搬入物展開検査、最後にごみ処理施設の適正な管理と施設整備と言うところでC評価を頂いております。今後、計画を推進するにあたり次回の部会の方で課題等を報告させて頂き、委員の皆様へに審議して頂いたうえで、新たな政策を盛り込みながら政策を実施出来ていないところにつきましては今後、課題として挙げさせて頂きますので、計画策定の時にご意見等を頂けたらと思っております。

(花田部会長)

これはどなたが評価しているのですか

(桂主任)

環境マネジメントシステムに基づきまして、個別計画を実施しているところの課が実績を出しまして環境室内または庁内で監査をして頂いております。

(花田部会長)

監査はどなたがされていますか

(桂主任)

この度につきましては、環境室内の他の課になります。

(花田部会長)

例えば達成率80%とか60%とか数値で出るものは、クリアに判定できるが、導入の検討など評価の仕方が分からないので疑問ですが、次回以降にご説明頂けることでよろしいか

(桂主任)

環境マネジメントシステムの所管課が環境総務課になりますので、評価の仕方などを次回ご説明させて頂きます。

(花田部会長)

お願いします。C評価が多いのが気になりますけど、それをどうすれば改善出来るかを考えるのも次の計画かと思えます。

(三木委員)

食品ロスについては、フードドライブの取り組みを行っており共有したいのが昨年、明石市で約6t位がフードドライブで集まっており、特にコロナ禍で凄く集まり生活困窮者の方にお届けすると、今までは子供食堂や福祉施設にお渡しするため「もったいないをありがとうにかえよう」という取り組みだったのですが、コロナ渦でかなり増えています、中にはお手紙を添えて提供頂いたり本来の意味とは違いますが、わざわざ買ってフードドライブに持って来られる方もいます。兵庫県内でも特に多く明石、加古川の方は意識が高いのかなと思います。しかし食品ロスの判定がBと言うのは、まだまだ良くなると思いますので一緒になって進めて行けたらと思っています。

(花田部会長)

とても良いお話でした。この間、食品の在庫を抱えてしまいSNSで訴えるとあっという間に、反応があるとか何かしたいが如何したら良いかが分からない方もいらっしゃるのかなと、伝えたら集まったと言うのがポイントだと思います。明石や加古川は反応が良く、コミュニティ意識が高く市民の方が明石をもっと良くしようとする意識が高いのかなと思います。そういった事を市民に伝えるともっと増えると思うので、是非ローカルプライドを高めることをされると良いと思います。

(堂本委員)

朝霧まちづくり協議会ではフードドライブを応援していますが、私自身は消費者協会もしており、コープこうべに食品など提供して終わりではなく、提供品の行方など詳しく内容を教えて欲しい。

もう1点は、明石市内において朝霧地区だけがフードドライブを行っているのですか？

(三木委員)

フードドライブ実施場所は、コープ朝霧からコープ魚住まで市内6か所で行っております。

(常設5か所で実施)

(花田部会長)

提供した物がどうなったかは、コープこうべさん既に示されていると思いますが、行き先が分かれば嬉しくなって、また提供しようという気持ちになりますね。

(三木委員)

我々の提供先として、社会福祉協議会を中心に持って行っています、譲渡会にも出向いてどんな方が取りに来ているのかリストを貰いながら確認しています。また、頂いた方からの声というのをコープの広報誌などに掲載しております。

(花田部会長)

次第の5番目にその他とありますが、事務局から何かございますか。

(仁井係長)

先ほども説明がありましたが、6月中に市民・事業所意識調査を終え、8月に第2回目の部会、9月に3回目の部会、10月に4回目の部会の開催予定を、11月中旬～12月中旬にパブリックコメントの開催を考えており、詳細につきましてはご連絡させていただきますのでお忙しい中ですが宜しくお願い致します以上です。

(花田部会長)

はい、ありがとうございました。次第を拝見しますと本日の議事はここまでとなりますが、全体を通

じてご意見などありましたら、ご発言をお願いします。

(松岡委員)

一般廃棄物処理基本計画の中で今日はごみの話でしたが、生活排水処理編等は次回と言う事ですか

(福村課長)

次回、説明させていただきます。

(花田部会長)

進行を事務局にお返しいたしますので、宜しくお願いします。

(仁井係長)

花田部会長、長時間にわたり部会の進行ありがとうございました。また、委員の皆様からの貴重なご意見等をいただき、ありがとうございました。

以上をもちまして、本日の第1回明石市資源循環推進部会は終了とさせていただきます。長時間にわたり有難うございました。

【閉会】